

令和7年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立雪谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・グループでの調理実習を通して、児童は調理への理解と意欲を高めるとともに、他者と協力して何かを作りあげる楽しさを実感することができた。
- ・授業の最後に振り返りを記入する時間を設けることで、児童は学習したことを自分の生活にどのように活かせるかを考えることができた。
- ・ICTを活用して、調理手順や裁縫の技能に関する動画を全体で視聴・共有することで、自分でやり方を理解して取り組める児童が増えた。
- ・グループでの話し合いを授業中に多く取り入れることで、児童がそれぞれの意見の違いを受け入れたり、認め合ったりする力を養うことができた。

(2) 課題

- ・見通しをもって製作に取り組むことができない児童もいる。
- ・調べ学習の際に、調べた情報を自分の言葉に置き換えず、そのまま書いてしまう児童もいる。

2 授業改善のポイント（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ICTを活用して調理の手順や裁縫道具の正しく安全な使い方を実際の動作を見せて指導する。 (授業構成) ・裁縫や調理実習の学習の時は、保護者やスクールサポーターの方に支援を依頼し、個別支援と安全管理の体制を強化する。 (授業構成) ・調理の基礎技能を習得し、他者と協力する楽しさや難しさを実感できるよう、調理実習の機会を充実させるとともに、実習ごとにグループ編成や内容を適切に精選する。 (授業形態)	・授業の最後に振り返りを書くことで学習したことを自分の生活にどうしたら活かせるかを考える。 (授業構成) ・生活における課題を解決するためにはどうすればよいかを考え、計画を立てて実践する学習を行う。 (授業構成・指導計画) ・友達との意見交換を通して、自分の考えを見直し、よりよいものへと練り直す時間を確保する。 (指導計画・授業構成) ・調べた情報を整理し、児童自身の考えをまとめ、わかりやすい言葉で表現できるように指導する。 (授業構成)	・製作する作品の製作計画を児童自身が立てることで、製作の見通しをもち、活動を主体的・計画的に行えるようにする。 (指導計画・授業構成) ・個人、ペア、グループなど内容に応じた活動にすることで、意欲的に取り組めるようにする。 (授業形態) ・学習内容が家庭でどのように役立つのかを、具体的な実践例を交えながら授業を展開し、児童が実践することの喜びを感じられるようにする。 (授業構成)